

## 五木地域における林業の成長産業化に向けた全体構想 のねらい・位置づけ（案）

### ○ 全体構想(マスタープラン)策定のねらい

五木地域の森林共同施業団地をモデル地域として、協定者をはじめとする広範囲な関係者の力を結集し、シームレスでスケールメリットを活かした森林整備をすすめ、五木地域の林業の成長産業化を実現する。

### ○ 全体構想の位置づけ

- ・ 全体構想は、施業の集約化の推進による林業採算性の向上を目指して、今後、五木地域の森林共同施業団地において行うべき取り組みを総合的・体系的にとりまとめるもの。
- ・ 策定後、協定者による連携のもと、この全体構想の趣旨や目標に基づき、具体的な活動の展開を図る。

### ○ 策定の進め方

- ・ 第1回検討委員会 12月7日（月）  
全体構想の論点について
- ・ 第2回検討委員会 1月（予定）  
全体構想の骨子（案）について
- ・ 第3回検討委員会 3月（予定）  
全体構想（案）について